

◆日本共産党の見解を紹介します。

<http://toride.jcpweb.net>

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

明るい取手

2012年8月5日(日)

発行: **日本共産党取手市委員会**

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500



なくせ原発 ともす希望 「国会大包围」20万人



志位和夫委員長スピーチ

志位委員長は、福島の子供たち支援・復興支援を呼びかけるとともに、「いますぐ『原発ゼロの日本』にすすむ政治決断を行え—この声で政府を包囲しよう」とのべ、大きな拍手につつまれました。

「原発廃炉」「再稼働反対」の声を政治の中枢につきつけようと29日、国会大包围行動が取り組まれました。集会、デモ、国会包囲の3部構成で、参加者はあわせて20万人（主催者発表）に。キャンドルやライトをかがけて原発のない日本の実現を訴え、国会を囲みました。国会正門前では日本共産党の志位和夫委員長をはじめ、民主、自民、国民の生活が第一、みんなの党、みどりの風、社民、新党日本の国会議員らがスピーチしました。

この日の行動は、さようなら原発1000万人アクション、原発をなくす全国連絡会、ザ・アトミックカフェ、脱原発世界会議、WISE Amsterdamが協力しました。

ちょっと待った！

小学校の「統廃合」

講演と交流のつどい

講演 **三輪定宣** 氏

千葉大学名誉教授

8月18日(土)

午前10時～
取手市福祉会館
3階講座室
入場無料



小規模校がいい

取手市公立小学校「統廃合」計画案
大震災後も見直しなく6校を廃校にする
学校減らしは、
子育て・教育だけでなく、
地域のコミュニティ・避難所などの
役割もこわします。

主催/日本共産党取手市委員会

「東急ビル」 再開へ 踏み出す



「JR取手駅西口前の大型商業施設『旧東急ビル』1階に、小売チェーン『西友』が年内に出店することが決まった」の各社新聞報道に、「がんばってほしい」などと市民から歓迎、期待の声があがっています。

これから、全面「再開」へ取手市の支援がのぞまれます。

常陽新聞(2012.8.1日付記事)

1階に西友が出店へ
JR取手駅前
とうきゆう跡 年内開店目指す

が決まったのは1階部分だが、2階から上の階は依然として入居者がいない状態が続いている。ビル権利者の一人、三和産業は「地元権者として駅前の活性化を目指し、上の階についても」

一人で悩まずに お電話を 電話 72-7816

弁護士無料法律相談/生活相談・労働相談

■無償で民間へ譲渡、今度は立て替え費用負担へ…

今年 4 月民営化の 井野保育所建て替え計画 事業費のうち 4 分の 3 は補助金で

取手市の負担は約 4,000 万円

建物は無償で譲渡、土地は無償で貸与し、今年 4 月に民営化された井野保育所（現在は井野保育園）の建て替え計画がすすめられていることが明らかになりました。建て替えの事業費は約 1 億 9000 万円（補助対象額約 1 億 7000

万円）の 4 分の 3（国・県・市）の補助金が使われます。

取手市の負担は、約 4,000 万円。9 月市議会に関係する補正予算の提案・審議が行われる予定です。

無償譲渡で民営化された保育所がその直後に補助金を活



井野保育園 (2012.8.1 撮影)

用して建て替えることに制度の問題点があります。少子化の中でも入所児童が増える保育所は、子育て支援の中で行政が最も力をつくすべき分野です。ところが、この間、取手市は台宿保育所を廃止、3 力所の保育所を民営化してき

ました。

国の民営化政策が、公立保育所建て替えの助成制度廃止など、制度改悪が、公的保育を低下させています。

日本共産党は、国会でも市議会でも公的保育の拡充を求めています。

■藤代駅南側の新田踏切を廃止へ

市長 〃与党派、市議

「新田踏切存続を求める請願・陳情」に賛成 → 一転、「廃止」に賛成

日本共産党、平坦な移動手段である新田踏切存続求める

2011 年 12 月市議会

2012 年 6 月市議会

藤代駅南側の新田踏切を廃止する「市道路線廃止の議案」が今年 6 月議会で賛成多数で議決されました。

12 月議会で存続を求める請願・陳情を採択してからわずか半年、市長は議会が採択した住民の要求を実現するための努力を怠り、6 月議会に新

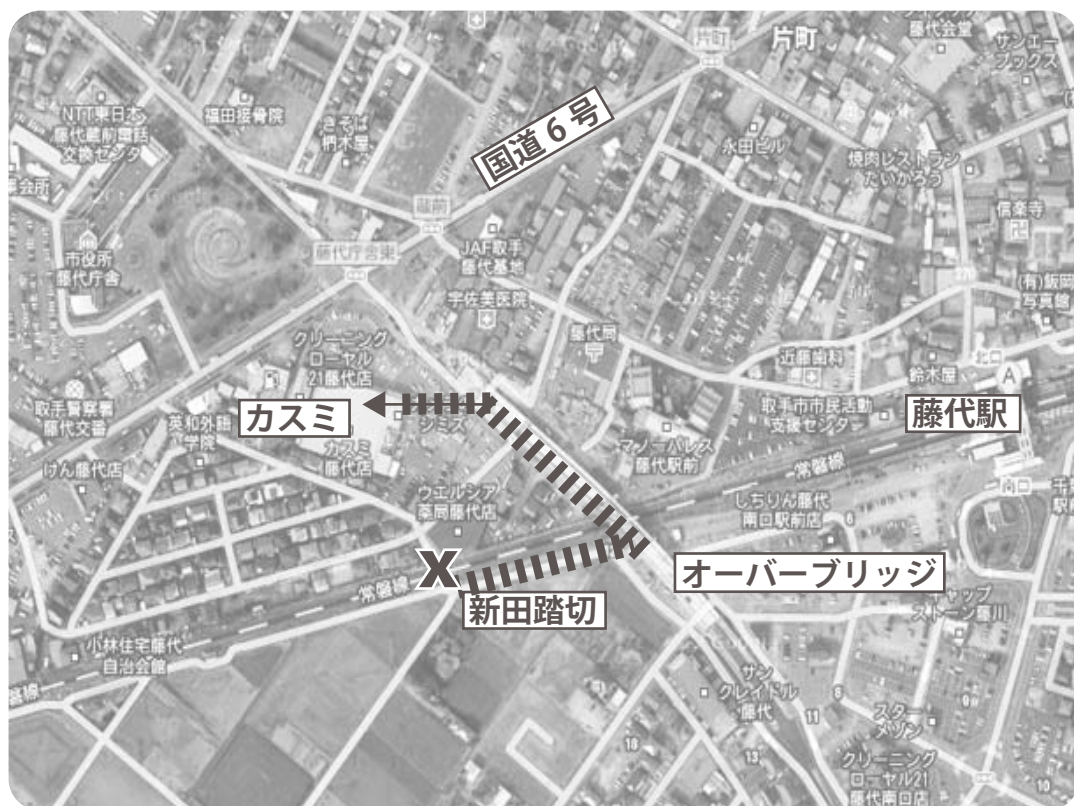
田踏切を廃止する議案を提案、審議した議会も、一転市長提案を認め議決しました。

市長の提案ならなんでも良しとする議会多数派の無責任ぶりに、市民から議会は「市長のいいなりなのか」「朝令暮改だ」と批判の声があがっています。

同踏切は、当初（26 年前）計画で常磐線藤代駅南側に跨線橋（オーバブリッジ）が完成した際には、それまで活用された踏切を廃止するというものでした。しかし、計画から 26 年経過した今、長年住民の生活道路として活用され、歩行者や自転車の移動にとつ

てとりわけ高齢化が進む今日では、傾斜が大きい跨線橋が出てても平らに移動できる踏切の必要性は変わりません。

遠山ちえ子議員は、踏切存続を求め「廃止」の議案に対する反対討論を行いました。



新田踏切が廃止された後の「カスミ」までの経路（常磐線を越えるオーバブリッジを通して）



オーバブリッジ工事中（2012 年 7 月撮影）



新田踏切

●ご意見などお聞かせください。

2012 市民アンケート（日本共産党が実施）を開始しました。これから各家庭に配布します。ご回答の程よろしくおねがいします。